

資料をご寄贈いただきました



歴史小説家永井路子さん(写真中央)が本学へ資料を寄贈されました。今回の寄贈は本学の卒業生でもある郷土史研究家秋山高志さん(右から2人目)のご推薦によるものです。

いただいた資料は古河の永井さんのご実家に代々伝わる「不二講」に関するものです。不二講とは富士山を信仰する山岳宗教で江戸時代に庶民の間に広まりました。永井さんのご先祖は六代目教祖の弟子で古河における活動の中心人物でした。

4月13日に永井さんが来学し、資料と目録をいただきました。また永井さんからは「庶民がどう生きたか。庶民の歴史資料を専門家の先生方に研究していただき、資料の命を吹き返していただきたい」というごあいさつをいただきました。

当館ではいただいた資料を整理し、近々展示を行う予定です。

公開講座を開催しました



5月16日(土)に一般市民の方を対象とした公開講座「**使ってみよう大学図書館 - 見て、聞いて、学んで -**」を開催しました。茨城県内各地から6名の方がご参加されました。図書館の利用案内、館内ツアー、貴重資料の説明など、図書館職員による90分の講義を最後まで熱心に受講されました。

10月17日(土)にも同内容の講座を開催予定です。詳しくは茨城大学生涯学習教育研究センターの**公開講座・公開授業ポータル**をご覧ください。

URL:<http://resource.admb.ibaraki.ac.jp/extention/index.php>

企画展示『古墳時代の大きな溝、発見！ ～豪族居館と台渡里廃寺跡～』を開催しました

平成21年4月24日(金)～5月22日(金)までの期間、図書館2階の情報発信コーナーで企画展示を行いました。

この企画は茨城大学人文学部考古学研究室と水戸市教育委員会が平成20年に行った台渡里遺跡の発掘調査の成果を公開するものです。出土品と最新の調査結果・研究成果のパネルを展示しました。

展示期間中は本学の学生、教職員だけでなく、地域の方も多数来館されました。



スタッフから一言

暑いと思ったら急に冷え込んだりして、体調を崩しやすい季節ですね。風邪などひかないように気をつけたいものです。

暑いと思って薄着した結果がこれだよ!!! (°Д°) ・ ゲホッ